

第3回運転・保守分科会議事録

1. 日 時：平成14年 3月22日(金) 13:30～15:30

2. 場 所：(社)日本電気協会 4階 C, D会議室

3. 出席者：(敬称略,五十音順)

出席委員：碓井(三菱重工業),小河(発電設備技術検査協会),勝山(関西電力),五明(火力原子力発電技術協会),斉藤(日立製作所),杉山(北海道大学),中島(原子力発電技術機構),中野(九州電力)西(BWR運転訓練センター),浜田(東京電力),福納(北陸電力),藤原(東北電力),本田(中国電力),村上(東京電力),横田(電力中央研究所),吉野(北海道電力)(計16名)

代理出席：森(東芝・岩見代理),市川(中部電力・梶川代理),武藤(日本原子力発電・鈴木代理),渡海(原子力発電運転訓練センター・大須賀代理),山田(四国電力・真鍋代理)(計5名)

欠席委員：大橋(東京大学),鈴木(聡)(電事連),長崎(東京大学),(計3名)

常時参加者：藤森(東京電力)

事務局：堀江・国則・平田・福原(日本電気協会)

オブザーバ

4. 配付資料

資料 No.3-1 第2回運転保守分科会議事録(案)

資料 No.3-2 JEAG4802 原子力発電所運転員の教育訓練指針(改定案)の改定手続き状況について

資料 No.3-3 JEAG4802 原子力発電所運転員の教育訓練指針パブリックコメント対応について(案)

資料 No.3-4 JEAG4802-2002 原子力発電所運転員の教育訓練指針(案)

資料 No.3-5 運転保守分科会 規格改廃要否の検討結果及び平成13年度活動実績及び平成14年度活動計画(案)について

資料 No.3-6 原子力規格委員会 規格策定基本方針

資料 No.3-7 運転・保守分科会委員名簿

5. 議事

(1) 会議定足数の確認

事務局から,委員総数24名に対し,本日の委員出席者数21名で,会議開催条件の「委員総数の2/3の出席」を満たしていることの報告があった。

(2) 前回議事録の確認

資料 No.3-1 に基づき、事務局より第 2 回運転・保守分科会議事録(案)について説明があり、特にコメントはなく了承された。

(3) JEAG4802 原子力発電所運転員の教育訓練指針改定案 公衆審査意見対応の審議

冒頭、資料 No.3-2 に基づき、村上幹事より、第 2 回運転・保守分科会改定案以降の JEAG4802 改定案は、原子力規格委員会における書面投票で可決され、その後 2 ヶ月間の公衆審査期間を、3 件の意見を受けて終了したこと、公衆審査意見対応案が次回原子力規格委員会で決議された時点で JEAG4802 改定案は成案となり、その後出版手続きを行う予定であること、の 2 点について紹介された。

その後、資料 No.3-3,4 に基づき、JEAG4802 改定案公衆審査意見の各々に対する対応案の説明が行われた。その結果、以下の点を修正した上で、原子力規格委員会に公衆審査意見対応案として上申することで、決議された。(賛成：21 票，反対：なし)

主な質疑は下記の通り。

Q-1. 運転責任者制度の運営や、教育訓練の実施が進むにつれて、本 JEAG 改定の必要性が生じた場合、メンテナンスは 5 年毎というルールにとらわれず、改定必要性が生じた時点で、改定作業を実施していくという理解でよいか？

A-1. そのとおり。

Q-2. 資料 No.3-3 については、公衆審査意見への回答案であるが、今後公開されるものとなるのか？

A-2. 原子力規格委員会で審議した後、公開することとなる。

(4) 運転・保守分科会規格改廃要否の検討及び平成 13 年度活動実績，平成 14 年度活動計画案の審議

資料 No.3-5 に基づき、事務局より運転・保守分科会の有する JEAG について、各々の名称・概要・制改廃要否及びその理由・H13 年度活動実績・H14 年度活動計画について、各検討会の意見集約結果の説明が行われた。その結果、本内容で、原子力規格委員会に上申することで、決議された。(賛成：21 票，反対：なし)

主な質疑は、下記の通り。

Q-1. 資料 No.3-5 別紙 - 1 の「制改廃の要否」欄に記載の内容(例えば「改定要否の検討」，「改廃要否の検討」などの表現)は、今後の活動がこの方針に拘束されるというような固定的な考えであるよりは、検討の結果によってフレキシブルに対応すべきものであると解釈してよいか？

A-1. 各検討会での検討の結果、異なる結論に至ったとしても支障はないものと考え

る。

(5) その他

- a . 運転・保守分科会の一部委員変更について、事務局より紹介があった。3 / 2 6
（火）開催予定の第5回原子力規格委員会で、正式に承認されることとなる。
- b . 次回開催日については、近々の開催必要性が現時点で明確でないため、各検討会の作業進捗状況を注視しつつ、別途設定することとした。

以 上